

「医療が安全であるために」

1月10日、医療安全の研究・活動では大変著名な東北大学大学院教授上原嶋夫先生にご講演頂きました。先生は、医療の質・安全学会を中心に、医療安全全国共同行動を行っておられます。それは、医療事故死を低減させるための取り組み成果を可視化すると共に、その取り組みを普及し、医療に対する信頼の回復を図るものです。一般科での医療事故はよく耳にしますが精神科も例外ではありません。ただ、医療事故というと、その責任を問う声ばかりが多く、事例を出して共有するより、隠すことに気がとられ、日本でも医療安全という重要な課題に組織体制として取り組むことが希薄であったといわれています。産業界には安全に対するマニュアルや事例が多いのに、医療界に少ない原因がそこにもあります。



アメリカでも医師や看護師といった医療者は世界的にも優秀であるにも関わらず、医療は組織としてのバックアップや医療安全に対するトレーニングが乏しく、その優秀な専門職の努力に任せられるところが多いため、統計では年間10万人の医療事故死が報告されていました。その10万人の命を救う活動が100K(kはキロで1000の単位、100×1000で10万)キャンペーンです。その結果、12万人の命を救うことができたと言われてます。根拠の薄い数字ということですが、医療事故防止の活動を行うことでたとえ1万人でも2000人でも、その命を救うことが重要であり、そのためのパートナーシップを築いていきたいとお話しになりました。

基本方針

人 権を重んじ、患者さんやご家族の「心のふるさと」になれるよう、患者さんの立場に立ったやさしい医療をおこないます。

最 新の医療知識と技術を身につけ、予防から急性期治療・リハビリテーション・在宅支援まで継続的な質の高い医療を提供します。

光 と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。

地 域の拠点病院として、行政機関や病医院・地域の方々と連携し、保健・医療・福祉に貢献します。

信 頼される医療サービスを提供するために、経営の健全化につとめ、すぐれた医療従事者を育てます。

2008.4.1 改定

院内



花
だ
よ
り

光風緑

院内の花が一段と美しく咲き競う季節です。馬酔木、桃、桜と美しい花の季節をお楽しみください。

花もも

ばら
薔薇科。

開花時期は、3/15頃～4/末頃。

今年は咲きはじめが遅く、桃と桜が同時に楽しめます。枝に沿ってびっしりと花をつけます。いろいろ種類がありますがふつつ、町でみかけるのは、花もも(花を鑑賞する目的の園芸品種)縄文時代から栽培されている。

外来診察表

外来診察時間 / 9:00 ~ 12:00(受付は11:30まで)

	月	火	水	木	金	土
2 診	黒田	中井		横田	黒田	横田
3 診	松島	野村	松島	野村	横井	横井
5 診	西側	一岩	植田	一岩	西側	植田
6 診	西村	山田	西村	三秋	相馬	
7 診	白濱	清水	吉田綾	中井	清水	
睡眠外来	黒田	黒田・野村	野村	野村	黒田	黒田
小児精神科外来	横田	横田		横田	横田	横田
専門外来	往診相談 外来	女性外来	口腔心身症 外来	物忘れ 外来		

専門外来(睡眠・小児・往診・女性・物忘れ・口腔)は予約制です
医療機関からの入院・転院のご相談は
地域医療連携室で承ります。
電072-278-0381 内072-281-6615



診療科目

心療内科 精神科 神経科 内科

病床数

精神科救急入院病棟50床(C1病棟)
精神科急性期治療病床60床(E1病棟)
急性期病棟56床(C2病棟)
メンタルケア病床50床(E3病棟)
慢性期・リハビリ病床174床(B1,B2,E2病棟)
老年期精神科・痴呆病床120床(D1,D2病棟)
合併症病棟60床(D3病棟)
精神療養病床120床(F2,F3病棟) 計690床

看護体制

精神科病棟 15:1 急性期病棟 13:1 スーパー救急 10:1
看護師比率70%以上・看護補助 10:1

関連施設ご紹介

訪問看護ステーションふれあい
居宅介護支援事業所
ヘルパーステーションはんず
ケアホーム/こもれび・青空・つばさ・そよかぜ
堺市中区八田南之町277 阪南病院内 電072-278-0381
ケアホームあんずの郷
堺市中区八田北町309 電072-278-2233
地域生活支援センターゆい
堺市中区深井東町3134 電072-277-9555



